

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月11日(木)

会場:青河コミュニティセンター

参加者数:30人

| 参加者の発言  | 市の発言   | 備考 |
|---|--|----|
| 住宅のリフォームについて、リフォームをして貸すのはなかなか採算が合わない。田舎の家だと、200万～300万円の改修費がかかる。いただける家賃は限られてくるので、修繕に係る費用面が何とかならないか。                                      | 地域のためにされていることと、営利目的にされていることは分けて考えさせていただき、地域の存続のための取組がより発展されるよう検討させていただきたい。   |    |
| 放課後子ども教室を行っている。災害時警報が出た際にも、子どもたちを預らせていただいているが、見守りができない。災害が差し迫った時には、小学校の2階に避難したが、見守りする者がいないので、警報時には市に対応をしていただけないか。                       | 警報時の放課後児童クラブの扱いは、小学校と同じ休会という対応をしている。警報が出たときの放課後子ども教室の運営については、見直しをしていただきたい。   |    |
| 先日、メキシコの方が三次に来た時、青河小学校と三次中学校に訪問していただいた。子どもたちがとても良い表情で帰ってきた。選手の方に直接教えていただいて、とても良い機会だった。英語検定の補助についても、子どもが頑張っていて感謝する。                      | <p>・メキシコの選手団は、陸上関係の方が来られ、交流する機会を持たせていただき好評だった。英語検定についても、全体で228名が受験し、今年からは小学校へも枠を広げた。挑戦したい子どもたちを支援しようとするものであり、しっかり活用いただきたい。</p> <p>・英語教育については、とても力を入れており、2年前倒しで取り組んでいる。小学校から英語に興味を持っていくことができている。メキシコの方々は明るく、交流ができてとても良いと考えている。</p>                              |    |
| 子どもの相談について、スクールカウンセラーの方が月に何回か来られるが、それを待たないと相談できない。三次市子ども応援センターには心理士とかプロの方がおられるのか。各校に配置するのは難しいと思うが、どこか1か所でも相談できる場所があれば良いと思う。             | <p>・県からのスクールカウンセラーは、配置されている学校へ月1、2日程度となっている。教育委員会では週に2日、市スクールカウンセラーが保護者や子どもの相談を受けている。三次市子ども応援センターにも職員が詰めているので、いつでも相談いただき、必要であれば専門につないだり、スクールカウンセラーの予約をしたりもできるのでぜひ利用いただきたい。</p> <p>・この4月から、妊娠前から高等学校まで幅広い年代の相談を受けるネウボラみよしを始めた。相談環境を整えているので、ぜひ遠慮なくご相談いただきたい。</p> |    |
| 放課後子ども教室は、昼間親がいない家庭であり、休会にすれば、その子どもたちの面倒が見れなくなるがどうするのか。保育所は警報が出ても見てくれるのではないか。   | これまで、保育所は警報発令時にもずっと運営をしていたが、今年7月豪雨の際は休所を行った。今後甚大な被害をもたらす災害も考えられるので、保護者の方に見守ってもらうことが重要と考えている。   |    |
| 警報時には放課後子ども教室は休会にする方針であれば、市としてそういった方針を周知していただきたい。よりよいサービスをしようとしても、ブレーキをかけられるとサービスを行っていくことが難しくなるので、考えていただきたい。                            | ケースバイケースをどのようにするか、地域に任せるのではなく、どうあるべきか検討していく必要があり、それをマニュアル化したい。7月豪雨の際は全域避難指示を出した状況で、災害の状況により庁内で検討していきたい。この度の災害で、避難所、避難経路、情報発信については総括し重要な課題と認識している。  |    |
| 買い物支援について、民生委員に三次商工会議所からアンケートの依頼があった。将来的に買い物難民などが増えてくるのはわかるが、地域的には福祉バスがあり、買い物に対応でき、川西では施設を作られ対応できると思う。この買い物支援について、市としてのまとまった考えがあれば伺いたい。 | 今回のアンケート調査は、三次商工会議所を中心に高齢者を中心とした買い物に支障がある方にどういった施策ができるか、調査されているものである。今後、市にも提言があると思う。買い物支援については、厳しさを増していると認識はしているが、現在のところ明確な方針は出していない。青河では個別にがんばっておられ、市内全域統一の対応は難しいと考えており、アンケートの結果も踏まえ、市民の皆さんの声も伺いながら施策を進めていきたい。  |    |

## 平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日: 10月11日(木)

会場: 青河コミュニティセンター

参加者数: 30人

| 参加者の発言  | 市の発言   | 備考 |
|---|--|----|
| <p>Uターンされている方もおられるが、何十年も家が放置されているところがある。国道375号沿いにある瓦が落ちた家を見ると、寂しいものがある。そういった老朽化した家が増えてきて、持ち主の方に地域からお願いしてもなかなか動いてもらえない。市から所有者にお願いする考えがあるか。</p>                                     | <p>・平成28年度に空き家の調査をし、市内に1400あまりの空き家を把握している。老朽化により、隣地や道路に重大な損害を及ぼす恐れのあるものについては、場合によっては補助金を出すようにしている。程度の良いものは空き家バンクに登録してもらうようにしている。個人の財産なので、相続・管理の講演会を行い、空き家にしない対策も進めている。最終的に、放置して所有者が対応しない場合、強制執行の制度もある。</p> <p>・危険性のある空き家をどうするかは、全国的な問題である。危険性のある建物については撤去勧告を行っていくようになる。強制執行はできるが、その費用は所有者に負担いただくのが原則で、回収不能となる恐れが高く、各自治体ともなかなか進んでいない。近い将来、判断が必要となると考えている。</p> |    |
| <p>この度の豪雨で、家が内水により浸水した。農協や自治振興区は見に来られたが、市はどう把握されているのか。実態把握の動きがないが、これからされるのか。こちらから言わなければ対応されないのか。事前防止の動きを取っていただかないと、また浸水してしまう。</p>   | <p>・この度、500戸を超える床上・床下浸水があった。青河地域は、自主防災組織で取りまとめられ、被害状況を市に提供していただいている。罹災証明、消毒については、申請で対応をさせていただいている。1軒1軒の実態調査については対応できていない。申請があれば見させていただきたい。</p> <p>・家屋が浸水した場合には、消毒が必要となるが、消毒作業を行う中で、床上・床下浸水の状況がわかっている。現場をすべて見て回るのは難しいが、消毒の際に把握している。国土交通省が浸水状況を調べて歩かれている。</p>  |    |
| <p>樋門を閉めたことで、内水が溜り、床上浸水した。原因は何だったかということは調べていただいたか。</p>  | <p>市街地の中で、内水の排水が行き届かなかった件については、国土交通省の方で課題意識を持って取り組んでいただいている。検証については専門家も入れて、間もなく対応が始まる。原因については、これまでにない雨量により河川の水位が上がって、内水浸水があった。1番の原因は雨量とハード面が整備されているかどうかということと考えている。昭和47年豪雨災害時とは異なった被害で、ハード面が十分にでなかった面もあるので、内水の排水について、いかに最少限度に留めるかという課題について、国、県、市それぞれの役割で対応していきたい。全国的に大きな災害が続き、国の予算も削減されており、市としても、さまざまな要望をさせていただいている。ただ、今回の災害以上のことが起こりうるということも想定する必要がある。</p>  |    |
| <p>コミュニティ被害については、早速調査に来ていただいた。災害時にはここが避難場所となっている。寺に一度避難し、いろいろな問題があつて最終的にここに避難した経過がある。安全安心な地域のために安心して避難できる場所をお願いしたい。将来的に安全な地域にするために、方向性をどう考えられているのか伺いたい。今回の雨量を考えると、水没する可能性がある。</p> | <p>全市全域に避難指示を出したのは、今回が初めてである。また、災害への取組はこれで終わりではない。いかに命を守るかということが一番に考えていかないといけない。行政だけで避難所や避難経路を決めていかず、地域の方と話をし、公共施設だけでなく、民間施設、個人の家を含めてどこに避難するか考えていかないといけない。今は避難行動を住民の皆さんと決めて、行動していく大事な時期と考えている。そして、いかに内水面、越水から生命・財産を守っていくかは、行政が先頭になって取り組んでいく。そういった中で、避難施設のことも話になってくると思う。</p>  |    |